

⑥ 高等学校 書道 解答例

校種
高・特高
受験番号

一				
(五)	(四)	(三)	(二)	(一)
(例) 一つの作品の中に、複数の書体を交ぜ合わせて書いた作品のこと。	(例) 仮名に対する語で、漢字のこと。	(例) 書画作品に筆者の証として示す、署名や押印。	(例) 筆墨硯紙のこと。	(例) 天皇の筆跡のこと。

【一】 配点：各1点 〓 5点】

二				
(一)	(二)	(三)	(四)	(五)
神 (神)	従 (従)	観 (観)	致	処 (處)

【二】 配点：各1点 〓 5点】

三				
(一)	(二)	(三)	(四)	(五)
売	訳	予	総	炉

【三】 配点：各1点 〓 5点】

四				
(一)	(二)	(三)	(四)	(五)
封泥	手鑑	雀頭筆	権銘	綴葉装 (列帖装)

【四】 配点：各1点 〓 5点】

⑥ 高等学校 書 道 解答例

校種	高・特高	受験番号

【五】 配点： (一)は完答で③点、他は各①点 〓 23点

五						
(七)	(四)	(三)	(二)	(一)		
(籀文) 大篆	小野道風	A	①	G	D	A
		蘇軾	B	自叙帖	国申文帖	黄州寒食詩卷
(八)	(五)	C	②	H		
		褚遂良	C	石鼓文		
イ	(恩命帖)	G	③		I	伊都内親王願文
		懷素	G	蜀素帖	B	
(六)	嵯峨天皇	I	④			J
		米芾	E	薦季直表	孟法師碑	
J	⑤	F	張遷碑			
鍾繇	A					

【六】 配点： (一)は各1点、(二)は2点、他は全て3点 〓 17点

六			
(四)	(二)	(一)	
①	甲辰	筆者1の作品名	筆者名1
(例) 思うに結構は時代につれて変わるものであるが、用筆は永遠に変わることがない。		(三) 老いの将に至らんとするを知らず。	快雪時晴帖
	筆者2の作品名		筆者名2
②	a	中秋帖	王献之
		筆者3の作品名	筆者名3
		伯遠帖	王珣

校種	高・特高	受験番号
----	------	------

⑥ 高等学校 書 道 解答例

【七】 配点：(二)は4点、(五)は3点、他は2点 17点

七		
(三)	(二)	(一)
藤原定家	むはたまのゆめに なにかはなくさまむ うつつに たにもあかぬ ころろを (減点法。誤字一字につき1点減点。濁点をつけた場合は1点減点)	古筆名
		名称の由来
		もとは枡形の小冊子であったから。
		誰の家集
		清原深養父
(四)		
世尊寺家		
(五)		
ウ		

【八】 配点：すべて1点 10点

八	
(二)	(一)
①	ア
ク	多様性
②	イ
エ	個性豊か
③	ウ
イ	価値
④	エ
ケ	主体的
	オ
	生涯
	力
	心豊か

【九】 配点：(二)の観点のみ各1点、他は全て各2点 13点

九			
(二)			(一)
C	B	A	(例)
観点	観点	観点	・どのような筆でどんな紙に書いたか、 墨の濃さや色彩の効果はどうかなど (用具・用材について述べていれば○)
(例) 墨色「について 字形」について	(例) 余白「について 字形」について	(例) 構成「について 墨色」について	(例) ・遅速緩急や間合い、筆圧の変化など、 筆をどのように入れて書いたかなど (用筆や運筆について述べていれば○)
特徴	特徴	特徴	
(例) ・直線的な連続線によって深々と雪が降り積もるようすが想像されるなど	(例) ・版面であるせいか北魏の書や造像記のような無骨な趣があるなど ・文頭が揃い行書きになっている。紙面一杯に文字が配置されているなど	(例) ・仮名の散らし書きのように行頭の高さが不揃いで行に動きがあるなど ・墨継ぎを効果的に用いて墨色に変化をつけ、奥行きを出しているなど	